

第7回

～全国からたくさんの力作が集まりました！！～

特別展「全国公募 なんがせいか 南画精華展」を開催します

ここに注目

- 南画の伝統的様式美に根ざした作品を広く公募し、コンクール形式で開催する展覧会です。
- 展示作品を通じて、生気に満ちあふれ、風雅に富んだ南画の世界を御堪能ください。

1 内容

「南画」は、中国の影響を受けて江戸時代後期に日本で確立された絵画様式で、水墨を主体として主に山水を対象に描くものです。

この「南画精華展」は、南画の伝統的な様式で描いた作品を全国から公募し、展示・紹介する展覧会で、今年度で7回目になります。

今回は、全国から応募された55点の作品を中心に、審査員出品作品や、近代の南画も合わせて展示します。頼山陽や田能村竹田たのむらちくでんが理想とした風雅の精神とは何かを、作品をとおして感じていただける展示内容となっています。

2 会期

3月15日(金)～3月31日(日)

[開館時間] 9:30～17:00 (入館は16:30まで)

[休館日] 月曜日

3 会場

頼山陽史跡資料館(広島市中区袋町5番15号)

4 入館料

一般 300円(240円), 65歳以上 240円, 小中高生 150円(120円)

※()内は15名以上の団体料金

5 関連行事

開会に先立ち、優秀作品に対する特別賞の授賞式及び内覧会を行います。

[日時] 3月14日(木) 13:30～ [場所] 頼山陽史跡資料館

【担当】

頼山陽史跡資料館 主任学芸員

電話:082-298-5051

e-mail:rhkraisanyou@pref.hiroshima.lg.jp



広島県知事賞
「先人心静想」藤田春篁(兵庫県)

平成三十年度
全国公募

南画精華展

平成31年
3月15日(金)
↓
3月31日(日)



広島県知事賞「先人心静想」 藤田春雄 (兵庫県)



広島市長賞「松溪談古」 児玉白鳳 (広島県)

- 会場 頼山陽史跡資料館 展示室・ロビー
- 時間 9時30分～17時 (入館は16時30分まで)
- 休館日 月曜日
(ただし祝休日は開館し、翌火曜日が休館)
- 入館料金 一般 300円(240円)
65歳以上 240円
小・中・高生 150円(120円)
※()は15名以上の団体料金

主催/頼山陽史跡資料館特別展実行委員会
(公益財団法人 頼山陽記念文化財団・頼山陽史跡資料館)
後援/広島県・広島市・広島市教育委員会・中国新聞社

頼山陽史跡資料館

〒730-0036 広島市中区袋町5-15 TEL 082-542-7022
<http://pref.hiroshima.lg.jp/site/raisanyou/>

交通案内

- JR広島駅から15分
- 広電電車「紙屋町経由広島港線」袋町下車すぐ
- 広島バス「広島港線」袋町下車すぐ
- 広島バス「袋町線(マリンパルまで)」袋町下車すぐ



南画は、中国絵画の大きな流れの一つである南宗画（文人と呼ばれる非職業画家を担い手とする）が日本に伝わり、独自の展開を遂げる中で確立した絵画様式です。

書画同源とし、詩書画三絶を理想とする南画においては、気韻生動（生氣が満ちあふれていること）と風雅味が重んじられ、教養に裏打ちされた描き手の知性と品性が問われます。

頼山陽や田能村竹田をはじめとする江戸時代の文人たちは「万巻の書を読み万里の路を行く」という中国の文人の生き方に憧れ、世俗を超越した崇高な境地を目指して筆を揮いました。

この「南画精華展」は、世俗を超越しようとする南画の伝統的様式美に根ざした作品を公募し、作品を公開することで改めて山陽や竹田が理想とした風雅の精神とは何かを問いかけようと立ち上げた企画です。早いもので、今回が七回目となります。

本展では、入賞入選作品を中心に、審査員出品作品や参考作品として近代南画も合わせて御覧いただきます。

是非御覧ください。



頼山陽記念文化財団会長賞
「高臥」田中柏紅（兵庫県）



広島市教育委員会賞
「江路梅花十里春」川本枯石（長崎県）



広島県教育委員会賞
「寒林樾樾園」大久保遊亀（広島県）